

# 「新しい東北」 の創造に向けた取組事例

東日本大震災から10年目の姿



## 52 強みを活かして企業連携

株式会社かね久 [宮城]



昨年11月に移転した新社屋の全景

**株式会社かね久**  
代表者 渡藤 伸太郎 (代表取締役)  
業 種 食料品総合卸売業  
電話番号 022-353-7697  
設 立 2014年2月  
所 在 地 宮城県仙台市若林区加町2丁目6-4  
Kanekyuビル  
業 務 内 容 地域商社・食きたて生(パン粉)・業務用食料品卸売業・新商品開発・イベント企画



人気商品「牛たんコロッケ」

### 1 被災するが、営業譲渡で再スタート。

連綿代表取締役は、震災前に株式会社鎌瀨によるM&Aを前段に株式会社社会久商店に入社し、事業譲渡の予定だったが、震災で社屋が半壊、自宅も潰された。震災の影響は大きかったが、2014年に株式会社社会久商店(創業70年)から営業譲渡を受け、株式会社かね久を設立。新たなスタートとなった。パン用メーカーであり、業務用食料品総合卸売業。生(パン)粉や粉(小麦粉・ミックス粉)を使用したコロッケ・フライが当社の主力商品だ。

### 2 強みを活かして企業連携。良いものをつくるのが重要

企業の強みを活かしてネットワークを構築し、県内企業約30社でプロジェクトに取り組んでいる。企業内習や販売期間に合わせ、大手企業や地元企業との連携先を考慮し選択する。連携のポイントは、各社の強みを活かすことである。大手企業と結びメリットは地元企業では持っていない企業/ノウハウ、販路、ネットワーク、先進技術力である。

大手企業とコラボレーションし、SDGs関連商品として大豆肉などを活用した新商品開発を積極的に行う。地域食材である水産物や畜産物など、食材の強みがある企業と連携し企業/ノウハウを最大限に引き出す。現在、牛たん大豆肉のひとくちステーキを開発中、企業間の連



宮城大学の学生と海外留学生との懇話

携を深め、各社の強みを活かす。連携型の商品開発を行っている。5つの強みを掛け合わせた経営戦略(企画力×商品開発力×地域力×販売力×仕入れ力)以上の強みを組み合わせたビジネスモデルの構築がポイントだ。

販売先は全国のメーカー、飲食店、中食、旅館、宿泊、観光施設等にも販売している。大手流通会社も認定増加傾向にある。牛たんコロッケは、仙台市南である牛たんと仙台味噌を中心部に入れ、中に詰まった牛たん食感が評価されている。

### 3 ニーズに合うものをつくり、他の業界とも連携

「市場のニーズに合うものを製造することが重要である。商社として、仕入販売までスケールメリットを最大限に活かし、販売開始する時点ですでにお客様が決まっています。」と連綿代表取締役は語る。

また総務部長である相田理士土法人(農林漁業(代表理事))とは二人三脚で経営戦略を練り、携わりが強い。食品のみではなく、他の分野(観光、アパレル、不動産、物流、メディア)との異業種連携も視野に入れて事業を行う。当社は生(パン)用メーカーとして食材の特長に合わせた商品設計を行い、食べるシーンやタイミングによってカスタマイズが必要なのである。例えば、「かき」などの水産物は旨味と水分が多く、具材の食感を活かすよう、打ち粉、バターミックス、生(パン)粉の組み合わせを処方設計する。お客様のニーズを実現する為、蓄積した経験とノウハウが重要である。

### 4 FOODEX JAPAN2020ご当地ソルフード部門で「牛たんコロッケ」が第1位。

業務委託は可能な限り宮城県内



かね久のスタッフの皆さん

に集約し、地元メーカー・工業の機械と雇用促進につなげている。「食」で宮城県内の魅力を発信し、新商品の開発と共にシタイセルスにつながる食の観光プロモーションを行っている点は地域への貢献である。

観光誘客には「食」は絶対欠かせないカテゴリーであり、これまでの取組や商品力が評価され、FOODEX JAPAN 2020「中小企業総合展 うまいものがた」開催事前アンケートでかね久開発の「牛たんコロッケ」が「食べてみたいもの7」でご当地ソルフード部門で当社は第1位となった。地域貢献を行う地域商社としてポジションを獲得したのである。

### 5 SDGsを見据えた経営

今年の1月に、震災から10年を迎えるにあたり、全世界・全国の皆様への応援に感謝を伝える為に、魅力ある持続可能な社会を目指し、「食のみやぎ花冠SDGs宣言」を掲げた。

パートナー企業約30社、サポーター企業約10社、宮城県や宮城大学と産学官連携モデルを構築。一般社団法人食のみやぎ応援団と当社が中心となり、みやぎの食産業のリーディングカンパニーとして地域創生に寄与する。被災を契機に乗り越え、異業種や企業と連携しながら「かね久」は次のステージに向かっていく。